



作業療法学専攻の

在校生が答えます

Q & A Student's



受験勉強は大変ですが、それを乗り越えれば
たくさんの刺激、素敵な出会い、
貴重な経験ができる大学生活が待っています。

2016年入学
●出身高校 / 帯広柏葉高校

三杉 彩華
Misugi Ayaka

Q1 保健学科を志望した理由はなんですか？

A 人と関わる仕事がしたいと思っていて、また医療系の職業への興味から作業療法士という仕事を知りました。作業療法士について調べるうちに、「人の生活に寄り添う仕事」という点に魅力を感じ、作業療法学専攻を志望しました。

Q2 どのような受験勉強をしてきましたか？

A 高校3年生の夏まで部活動をしながら参考書、問題集などを利用して勉強を進め、11月頃より塾に通い始めました。その後は過去問を何度も繰り返し解きながら、間違えた問題については時間をかけて丁寧に復習をしました。また、苦手な分野にも少し多めに時間を割いて丁寧に勉強をしました。

Q3 実際に入学してみてどうですか？

A 2年生から専門科目の勉強がスタートし、受験した時より作業療法士により魅力を感じるようになりました。試験や実習など勉強が大変な時期もありますが、サークル活動、アルバイトなどとの両立を図り、長期休みには旅行をしたりとメリハリをつけながら充実した大学生活を送っています。

Q4 受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

A 受験期には自信を失くしたり、進路に迷ったりすることもあると思いますが、苦勞した分だけ、また努力した分だけその先に待っている大学生活は素敵なものになるはずですよ。強い思いを持って最後まであきらめずに頑張ってください。応援しています！



授業紹介

専門科目の一部を紹介します

高次脳機能障害学	身体障害評価学実習	基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱ	日常生活活動学実習
脳卒中などの脳損傷によって記憶、注意、言語、認知などに障害が生じます。このような障害を科学的に追及し、患者を支援していく学問が高次脳機能障害学です。本授業では、関連する学問である脳科学や神経心理学についても学習します。	作業療法では、対象者の運動機能や認知機能を様々な方法を用いて検査します。本授業では、運動に関する各検査（関節可動域測定、徒手筋力検査、上肢機能検査、片麻痺機能検査、感覚検査など）について実習します。	作業療法では、治療手技として手芸等を用いることがあります。本授業では、陶芸、籐工芸、木工、七宝焼き、革工芸などの作業工程を学び、さらにそれぞれの作業が有する特性、すなわち、必要な運動・感覚・認知機能やコミュニケーションなどを分析します。	ヒトが日常生活を送る上で必要な動作等の支援について学びます。寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本動作や食事、更衣、入浴、排泄などの身辺動作についての援助方法、杖、歩行者、車椅子の使用法や援助方法について実習します。